

高松市教育委員会  
保健体育課長 殿

学校名 高松市立古高松南小学校  
校長名 蓮池 正

公印  
省略

## 令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立古高松南小学校
派遣内容	防災に関する出前授業
日時	令和7年11月27日(木) 13:30~14:30
場所	古高松南小学校 体育館
対象者 参加人数	児童数 5年生124名 クラス数 4クラス 教職員 4名 その他 0名
内容・日程等	急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう ～古高松南小校区で河川・池の決壊・氾濫が起きた時の 避難について学ぶ～
取組における成果	古高松南小学校校区には、新川や春日川といった大きな川が2本流れている。また近くには久米池などのため池があり、台風などによる大雨の被害が想定されている。そんな中で、自分たちの住んでいる地域では、どんな被害が想定されているのか、その時にどのように身を守って安全に避難するのかについて学んだ。今回の学習では、具体的な資料の提示や、地形の特徴についてのお話もあり、河川から離れた場所でも、ため池の氾濫等によって浸水の被害が起きるということを知ることができた。自分たちでは調べられなかった内容で、さらに学習を深めることができた。避難行動に関するクイズもあり、児童は意欲的に取り組み、防災学習への関心を高めていた。2月の学習発表会の際に、これまで学んだ内容を、保護者や違う学年の児童に発表することができた。実際に災害が起きた時の避難行動や防災グッズなどについて、保護者と一緒に考えることで、学んだことの振り返りや、家庭でできることについて話し合うよい機会となった。
今後の課題	地域が主体となって防災訓練を行っているが、参加者の少なさや危機意識が低い児童や保護者がいることが課題である。授業参観や出前授業等を活用して、児童と保護者が一緒に考える学習を今後も続け、万が一に備えた防災意識を高めていく必要がある。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。

防災教育～高松地方気象台の方のお話を聞いて、学んだことをふり返ろう～

5年 2組 名前《

》

☆感じたこと・思ったこと・考えたこと・これからに生かしたいことは？

災害がおきるとすぐにたてものの中にはいるとみんななことが分かりました。

災害は、災害でおひなんする場所や、ひなんする時がぜんぜんちがうことが分かりました。

おきないことを願うが、もしおきてしまうと今日ならたことを生かしてこざるたい早くそして安全にひなんできるようにがんばります。

ひなんする人以外にも、いろいろ香川県のことを考えておいてる人がいてびっくりしました。じしんの時に、しんとつにおきてひなん

するかしらないかそしてたれがひなんするかのめやあつのよなことがきまっていることに気づきおしおんしんしました。

雷が近いかとおいかなどほかんけいしないことが分かりました

雷がなっているからと木の下にはかかれてはいけないうことが分かりました。じょうぶなたてものの中に入ることが

一番安全でいいことも分かりました。ため池が

はんらんすると、古高松南小学校の方にながれてくることを

知りました。わかれおに安全にひなんしたいです。

防災教育～高松地方気象台の方のお話を聞いて、学んだことをふり返ろう～

5年 2組 名前《

》

☆感じたこと・思ったこと・考えたこと・これからは生かしたいことは？

学んだことは、急に大雨がふったりして来たらすぐに建物などにひなんすることが大切だと分かりました。たつまきなどが来たらできるたけまどからはなれたらいいことが分かりました。たつまきも大雨と同じようにかんじょうな建物に入ることが大切だと分かりました。たつまきが来たら2階よりも1階にいたらいいいことが分かりました。雷の場合は建物が無い場合は車の中にひなんしてもいいことが分かりました。香川県にも香田川の水がはんらんして床上・床下まで水があふれてきていたことが分かりました。久米池の水があふれると古高松南校区に水が流れてくることが分かりました。そなえは日こころからニュースなど最新の気象情報を確認することが大切だと分かりました。



